



# JAL不当解雇撤回ニュース

No461号 2015.10.20  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.co>



## 植木社長、全ての争議の解決を!

朝からの小雨があがり、ときおり薄日もさす 10月17日(土)、原告団とその支援者 81名が、植木義弘社長宅の最寄り駅、新浦安駅前前で解雇撤回の理解と支援を求めて、街宣行動&周辺パレードを行いました。航空関係者が多く住むここでの街宣は3回目、パレードは初めてです。家族連れや、部活姿の学生でにぎわう昼下がり前の駅前で2箇所、50分間で1400枚のチラシをまき、大いにアピールしました。その中には監視していたJAL関係者もいたようです。また、静かな住宅地に出現した色鮮やかな幟は珍光景で、マンション窓から見下ろす人や、道行く人達の関心を集めました。JAL植木社長の耳に、そして胸にまっすぐ届け、私達の叫び「解雇撤回!!」



山口団長は、「今、世間を賑わせている独フォルクスワーゲン社や三井不動産、もし自由にモノが言えたら、こんな深刻な問題にならなかった。航空会社でモノが言いにくくなるということは、直接命に関わる。今まで745名の命を犠牲にした会社が、安全より利益優先で良いのか。労使関係の正常化は安全運航の基盤。パイロット出身の植木社長なら、問題の先送りは致命的な事態になることがあると知っているはずだ。責任を持って争議を解決してほしい」と訴えました。



北口デッキ・内田団長



新浦安駅周辺45分パレード



「安全大好き」風船

植木社長は社長就任時のインタビューで「間違ったと思った時にはためらうことなく軌道修正する。問題解決に時間を費やしていると最悪の結果になる。本音で話す。最後に責任を取り逃げない」と発言しています。有限実行は今です。「余剰人員」の証拠はどこにもありません。慢性的な人手不足は、2020東京オリンピックのビジネスチャンスをも逃しかねません。そしてこの解雇が現役社員に残した傷を癒すためにも、解雇撤回は避けては通れません。さあ、政府や稲盛名誉顧問の助言を待つことなく、真摯に労使交渉をスタートさせてください。パイロット出身初の日本航空社長として、整理解雇された元同僚165名をもう一度空に戻してください。